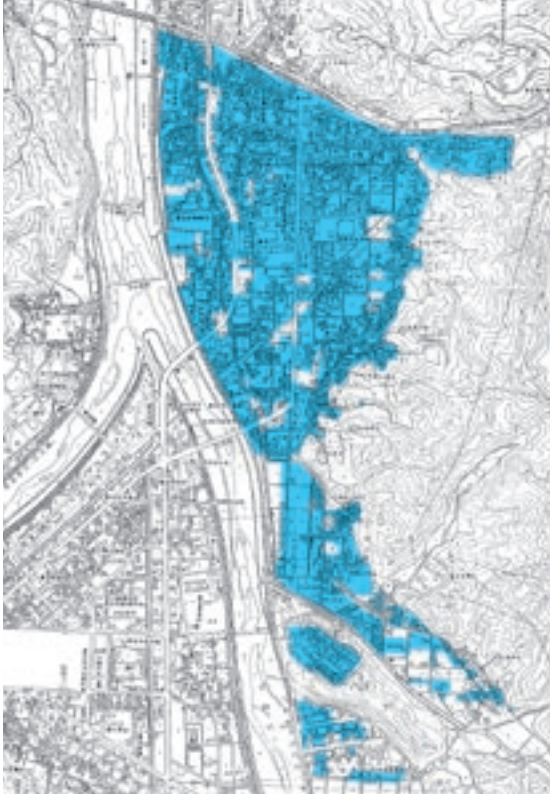
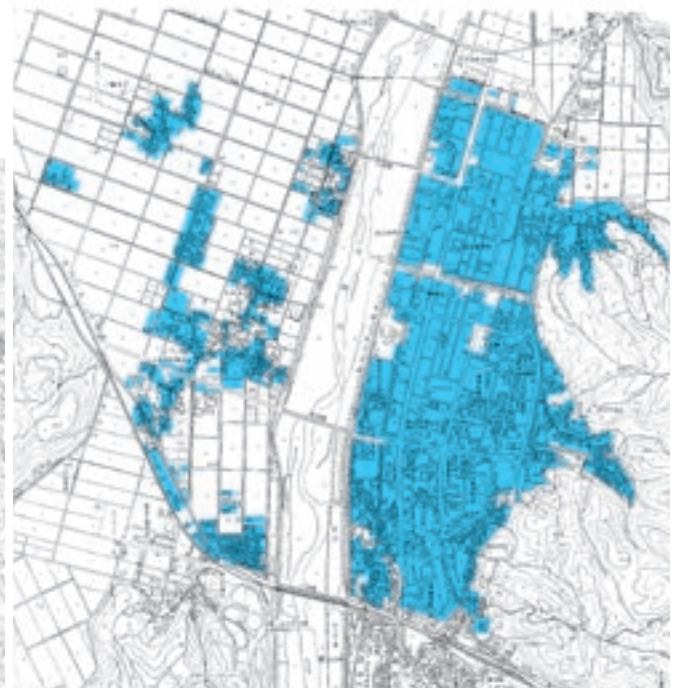


下水道を促進して

▶ 上井 (駅南)・西郷地区



▼ 大原地区



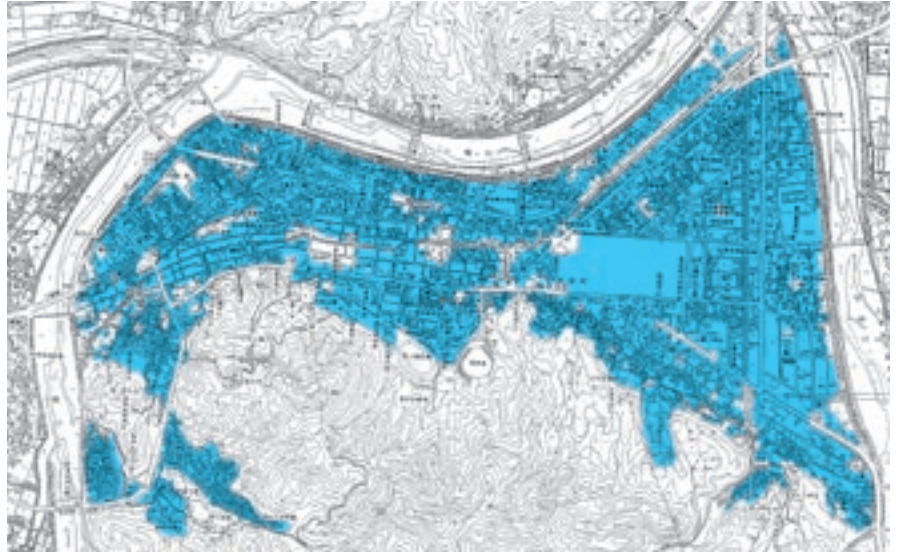
◀ 上北条・上井 (駅北) 地区

下水道事業の概要

《整備状況・接続状況》

- 全体計画面積 1,556.6 ㏎
 - 処理可能面積 1,037.0 ㏎
 - 行政人口 (A) 53,175 人
 - 処理可能人口 (B) 34,938 人
 - 人口普及率 (A)/(B) 65.7%
- (平成 17 年 3 月 31 日現在)

▶ 明倫・成徳・上灘地区

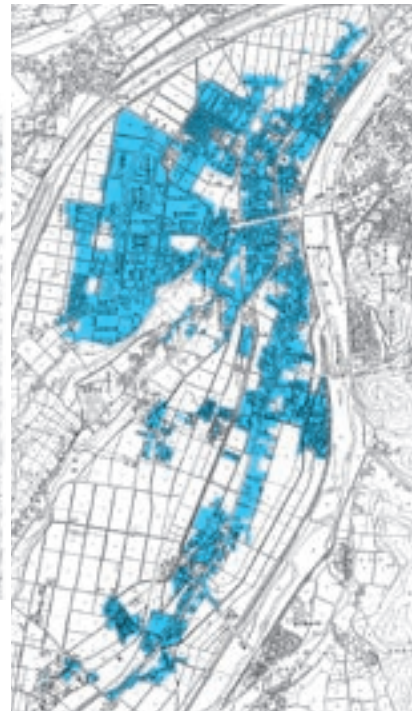


着色した地域は 下水道が使えます

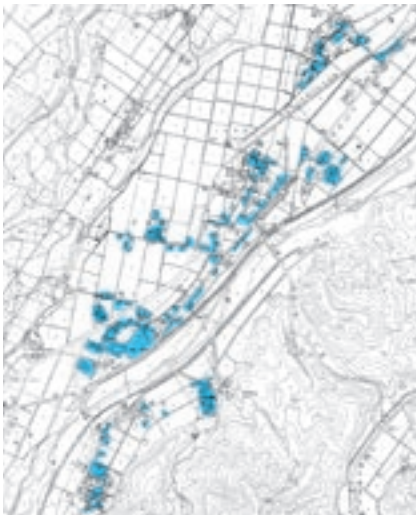
(地区外は、着色してありません。詳しくは下水道課または地域整備課におたずねください。)

▼ 小鴨・社 (国府川以南) 地区

▼ 社 (国府川以北) 地区



▼ 上小鴨地区



▲ 上小鴨
(中田・耳) 地区

下水道課からお願い

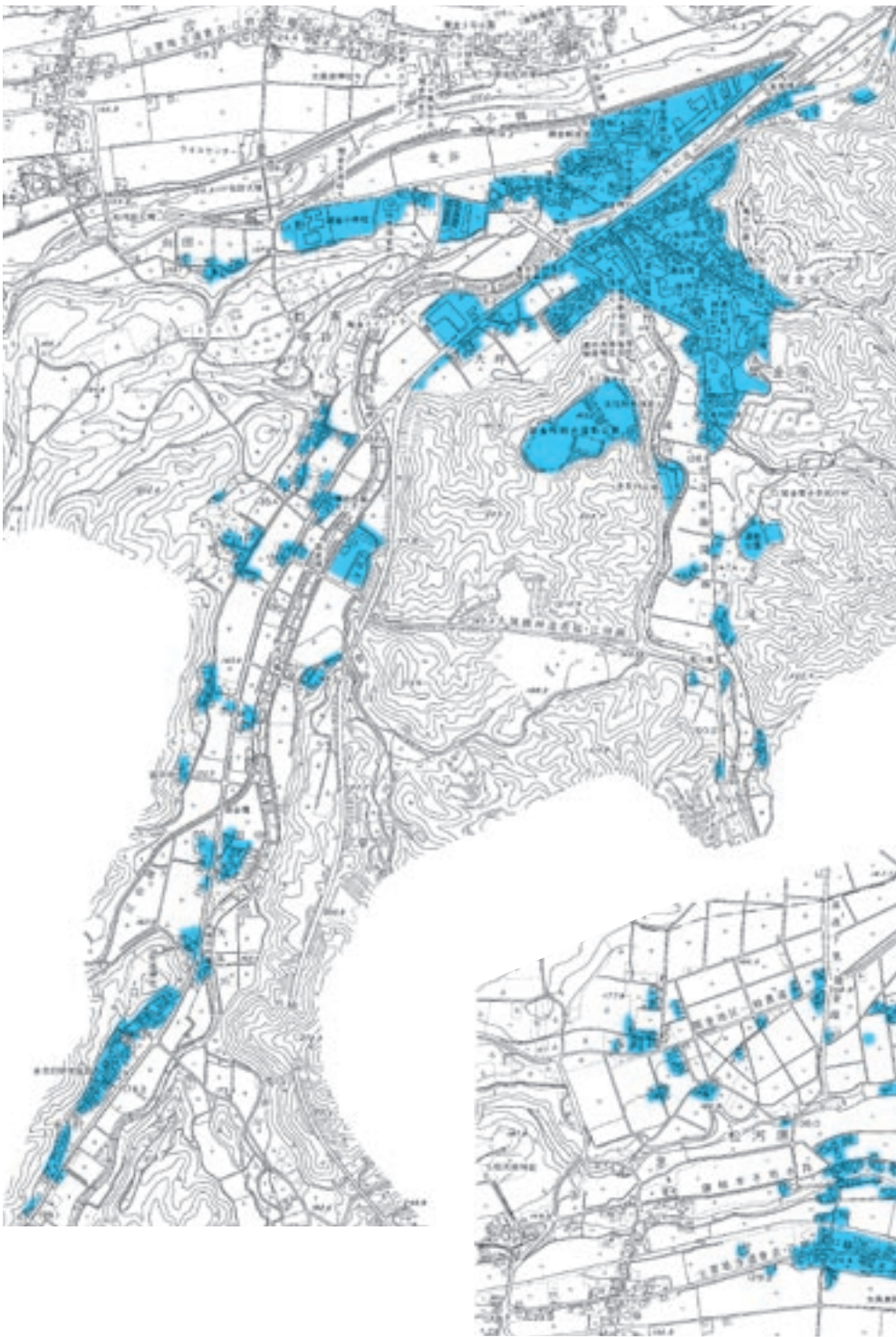
排水設備は、個人で設置し維持管理するものです。次のことに注意しましょう。

●台所では、残飯や野菜くずを流さないでください。排水管の詰まりや悪臭の原因となります。

●水洗トイレには、専用のトイレトーパー以外のものを流さないでください。便器や排水管の詰まる原因となります。

排水設備についての詰まり、老朽化などのご相談は、施工をされた倉吉市排水設備指定業者または、下水道課または地域整備課へお問い合わせください。

▼関金地区(大鳥居・安歩・松河原)



▶関金地区(関金宿・郡家・山口)



せきがね図書館

コーナー

●大活字本のコーナーができました。

大活字本とは、活字を大きくし編集された本のことです。既存の単行本を大活字化したものが中心で、通常の活字よりも大きな活字で書かれているため、普通の活字では見にくい人にも、とても読みやすくなっています。「本を読むのは大好きなのに、文字が読みづらくて・・・」といった人にお勧めです。文字が見えにくいからと本を読むのを諦めてしまった人、大活字本に挑戦してみてくださいいかがですか？

館内での閲覧はもちろん、貸出もしています。倉吉市立図書館でも大活字本のコーナーを設置しておりますので、合わせてご利用ください。大活字本の活字はこのくらいの大きさです。

「あいうえお」

※問い合わせ先…せきがね図書館

☎・FAX 45-25523



ハート・バリアフリー

倉吉市人権文化センター

☎ 22-4768 / FAX 22-4901

№.4



長島大橋、島と本土を結ぶただ一つの橋「人間回復の橋」とも言われています。

2001(平成13)年、ハンセン病について国の隔離政策が誤りだったと認める熊本地裁判決がありました。しかし、その熊本県の某ホテルで宿泊拒否問題が起こるなど、いまだにハンセン病に対して偏見や無理解などによる回復者への差別は根強く残っています。そこで、改めてなぜ差別が生まれるのかを検証し、今後の課題を考えていきたいと思います。

鳥取県と「無らい県運動」

ハンセン病(者)について国民に恐怖心を植えつけた最大の要因の一つに、官民一体となって取り組んだ、戦時下の「無らい県運動」があります。

戦時下というのは偶然ではなく、「民族浄化」のスローガンのもと、恐ろしい病気が兵隊や健康者に移ってはならないと、各県が競って自分の県から一人残らず病

ハンセン病とはどんな病気? ● 感染力、発病力は弱いもので、万一発病してもプロミンという特効薬により完治します。治療した後に残る身体の変化は後遺症にすぎません。 ● 遺伝する病気ではありません。 ● 患者を療養所に送ろうとした運動のことです。

この運動に、最も熱心に取り組んだ県として知られるのが、私たちの住む鳥取県でした。鳥取県ということ、倉吉市そして各町の住民もかわったということになります。ここが大事な問題点です。

「鳥取の病者を早く入れてください」と住宅建設の募金活動が学校の生徒も含めて展開されました。年輩の人は、「小島の春」という本・映画をご存知でしょうか。それは無らい県運動推進に大きな役割をしました。

今まで親しかった隣近所はギクシャクし、家族は地域とのかかわりを持たせてもらえない、結婚は破談となり、中には自殺者が出るほどの差別があり、同和地区や在日韓国・朝鮮人の差別と重なる面があります。

再び過ちを繰り返さないために

「戦後」プロミンが出現して以来、

伝染力は失い「隔離」の必要はなくなったにもかかわらず、そのことを言わないでいた国や行政、誰もがそれは間違いだと指摘しなかったことが、患者とその家族の人権侵害を起こした原因だと十分反省して、再びこのようなことが起こらないよう、はつきりと話し合い、お互い間違い・誤りを正せるような社会を築いていただきたい。」

(長島愛生園鳥取県出身者 加賀田一さん体験談より一部抜粋)

「人権からみた課題」

- ・ 入園すると番号名で、園内通貨しか与えられず、脱走できないようにした。実名は名乗れない。
- ・ 断種・人口妊娠中絶：たとえ結婚できても、子どもを生むことが許されなかった。
- ・ 納骨堂：死後も故郷の墓に埋葬してもらえない。
- ・ 日本の植民地下におけるハンセン病患者への施策：強制隔離の犠牲者は日本人だけではなかった。日本の植民地であった朝鮮や台湾などでも行われた。
- ・ 人権に配慮した医療を：どんな病気でも、差別につながる人権を無視した措置は、許されない。

これだけの人権侵害がつい最近まで続き、私たちも人権学習を積み重ねながら、その差別に気付く

ことができずして。社会のできごとと、自分の生き方を結びつけて考えてみると、それがハンセン病問題から学ぶことにつながっています。 私たちに何ができるでしょうか。まず、知ることから始めてみましょう?

ハンセン病に関する資料(ビデオ・書籍・パネルなど)は人権文化センターにあります。 どうぞご利用ください。

長島愛生園を視察した

鴨川中学校生徒の感想 今なお故郷に帰れない人も多く、差別や偏見は存在しているのが現状です。

80歳を過ぎた加賀田さんが私たちに一生懸命に話をされたことは、次の世代に同じような過ちをおかさないようにしてほしいという心からの叫びだったと思います。この言葉を重く受け止め自分たちの問題として考えていきたいと思っています。

※その後、2003(平成15)年鴨川中学校は部落解放文化祭で解放劇「H A S H I」を発表し、心の想いを皆さんに届けました。

この解放劇の後、劇に対する仲間の取り組みとこの不当な差別をなくしたいという願いから厚生大臣宛に手紙を書いて訴えました。

第10次倉吉市総合計画・基本構想（素案）の住民説明会を開催します

現在、倉吉・関金合併協議会で策定された「新市建設計画」を基本としながら、平成18年度からスタートする「第10次倉吉市総合計画」の策定に向けた取り組みを行っています。この度、基本構想（素案）をまとめました。

そこで、皆様のご意見などをいただくため、次のおり説明会を開催しますので、ご参加ください。

ところ	とき
成徳公民館	6月21日（火） 19時～
小鴨公民館	6月22日（水） 19時～
県立倉吉体育文化会館	6月23日（木） 19時～
関金総合文化センター	6月27日（月） 19時～
社公民館	6月28日（火） 19時～

※基本構想…本市の将来を展望し、まちづくりの基本理念と将来都市像を示すとともに、これを達成するための基本方針を明らかにし、計画的かつ総合的な行政運営の指針となるもの。

第10次倉吉市総合計画
市民意識調査に
ご協力ください

【調査の趣旨】

平成18年度からスタートする総合計画における「基本計画」を策定するにあたり、市民の皆様が倉吉市をどう感じ、どう考え、また、まちづくりに対してどのような課題があるとお考えなのかを把握するため、このたび、市民意識調査を実施することといたしました。

※基本計画…基本構想の方針を受け、まちづくりの将来都市像を達成するための基本的な施策の体系を示すもの（期間は18年度から22年度の5年間）

【調査方法】

対象…20歳以上の市民千五百人（無作為抽出）

期間…6月25日～7月7日

回答方法…調査票を郵送しますので、ご記入いただいた調査票を同封の返信用封筒に入れ、投函してください。

※問い合わせ先…企画課

（☎22-8161 / FAX22-8144）

メール:kikaku@city.kurayoshi.tottori.jp



姉妹都市
ナジュー ファチョン
羅州・華川便り③

国際交流員 韓召眞

華川郡の「第10回碑木文化祭」

韓国では6月のことを「護国報勲の月」といいます。50年6月25日、朝鮮半島は南北に分かれ、民族同士が戦った「朝鮮戦争（韓国名：韓国戦争）」が起りました。朝鮮半島全体が戦地になったことは言うまでもありませんが、その中でも華川郡は戦争が激しく、今でも戦跡がたくさん残っていることで有名です。前回は紹介しましたように、華川郡は休戦ラインに接しており、郡内には、一般郡民より軍人の数が多い町です。

碑木文化祭は、朝鮮戦争で、国のために戦地にて亡くなった勇士の冥福を祈り、また南北統一を願い、毎年顕忠日（ヒョンチュンイル）（6月6日・殉国の烈士を追慕する日、国民の休日）の前後に行われています。

碑木文化祭の期間中にはさまざまな芸術公演が行われますが、第7回の文化祭の時には、旧関金町から

「せきがねさいとりさし」が出演したこともあります。今年は6月4日から7日まで開催され、脱北者15人からなる平壤演劇団の舞踊と合唱公演も行われたそうです。

「碑木」という名前は、韓国でも歌われている「碑木」という歌曲から取ったものです。この曲は、華川郡に位置する軍部隊に勤務していたある若手将校が、休戦ラインの近くで偶然見つけた無名勇士の石墓を見て感じたことを歌にしたものです。

華川郡には碑木公園があり、現在の公園には記念塔のほかに、錆びた鉄帽をかぶった木の十字架が10本以上立っており、朝鮮戦争という悲惨な歴史を表しています。

去年、日本でも公開された映画「ブラザーフッド」を見ると、こういった韓国の歴史を理解するのに参考になると思います。よく作られた映画ですので、ぜひ見てみてください。



비목문화제
HWACHEON BMOK CULTURAL FESTIVAL

▲碑木文化祭のシンボルマーク